

民芸の森倶楽部 民芸の森倶楽部たより 第6号 平成29年6月

5月28日(日)「初夏、森の手ざわり」盛大に開催されました！

5/25の中日新聞(豊田版)でイベント開催日と紙芝居が掲載され、5/24ひまわりネットワーク「とよたNOW」で活動の様子が放映されました。



手作り紙芝居「本多静雄ものがたり」に見入る人々。レトロな演出に感心する方も。初公演は大好評でした。



森の市の「陶器と新茶を楽しむ会」では作家物の器を選び、日本茶インストラクターから豊田市の美味しい新茶の味わい方を学んで楽しみました。



松近亭での茶席は本多流に「あんぱん」が茶菓子。本格的な茶席は参加者の方々に喜ばれました。



狂言舞台での杜若高校吹奏楽部の演奏。地元中高生の演奏や民芸の森づくりの講師による落語など、幅広い活躍や表現の発表の場となりました。



第2回「私たちの民芸観」を開催します

- ・日時：7月9日(日)
午後1時30分～3時30分
- ・場所：民芸の森 旧海老名三平宅

申込み不要、入退出自由の気楽な集いです。

第1回「私たちの民芸観」(2/26)を開催して

豊田らしい民芸部会は部会の充実を図り、通常活動の他に“私たちの民芸観”と称し、テーマに沿う民芸品を手に取りながら、気楽に話ができる場を持つことを考えました。きっかけは、民芸品(特に古民芸)とはガラスケースの向こう側に在るもので、自分の身近に置くことはむづかしいと考えている方が多いのではないかと考えたことからでした。ならばむづかしい事はさておき、との気持ちで第1回を今年2月に“くらわんか”をテーマとして開催しました。私自身小さいながら薪窯で、古陶を手本として焼成してきましたので、陶工としての立場からの考え、各書物を読んだの考察、作品が作られていた時代背景のことなど、取り留めはありませんが語り、参加者の疑問、質問に応えつつ、1時間あまり気軽に話し合いました。その後は歴史伝承部会の新實さんが古美術蒐集40年あまりにわたるコレクションから10点ほど披露して、品物にまつわるエピソード、苦心談など紹介してくださいました。初心の方もベテランの方も、美しいものに対して共感する心は同じです。上記の経過をふまえ、“そば猪口”をテーマに第2回「私たちの民芸観」を開催します。多くの方が参加して下さることを望みます。なお、各自気に入りのそば猪口を持参し披露して下さることも望んでいます。お気軽にお越しください。

豊田らしい民芸部会長 角岡 秀行

民芸の森倶楽部 2016～2017年 活動報告

■ 歴史と文化の伝承部会

- ・紙芝居「本多静雄物語」製作… 豊田の偉人本多静雄氏の「青佳自伝」等の著書より、大人も子供も楽しめる手作り紙芝居づくりが進行中で、「初夏、森の手ざわり」狂言舞台で初演。
- ・民芸の森の解説をするボランティアガイドの定例開催。(第1,3土曜/毎月)
- ・「青佳談義」開催。「陶山欽三氏(元名古屋民藝協会)」、「池上勝次氏(岡崎石造美術研究所主宰)」



■ 豊田らしい民芸部会

- ・体験ワークショップ(1～2回/月)… 現在の生活を見直しながら身近な民芸(工芸)を体験する。
〔例—陶器の雛人形を作ろう、竹の吊し雛飾り、小原和紙の型染め、極寒の寒茶を楽しむ等〕
- ・会員等の民芸コレクションを鑑賞し、互いに学ぶ座談会「私たちの民芸観」開催。



■ 森の環境づくり部会

- ・「民芸の森づくり講習会」(4回)の開催… 民芸の森は想いの詰まった和風個人庭園と里山の雑木林を併せ持つ特徴があり、この両側面を活かした森づくりの計画を考えていく。
- ・体験ワークショップ… 民芸の森の場所や自然素材を活かした工芸、ものづくりを体験する。
〔例—夏休み 森の巣箱づくり、スーパー竹とんぼづくり、竹ぼっくりと園内遊歩 等。〕



民芸の森倶楽部 Facebook : www.facebook.com/mingeinomori/

入会申込み、お問合せは、下記まで直接来訪または電話・FAX・メールでご連絡ください。(件名「民芸の森倶楽部入会について」として下さい。)

市民ボランティア民芸の森倶楽部 豊田市民芸の森内 民芸の森倶楽部事務局

住所 : 470-0331 豊田市平戸橋町石平60-1

TEL : (0565) 46-0001

FAX : (0565) 46-0043

アドレス : mingeinomori@city.toyota.aich.jp

HP URL : <http://mingeikan.toyota.aichi.jp/mingeinomori/>

